

QRコードを読み取っていただくとホームページを見ることができます。小値賀小学校の情報を様々に発信中です!



小値賀っ子だより

小値賀町立小値賀小学校 QR



スマートフォンからはこちら



学校スローガン『挑む!』 令和5年7月3日発行 第4号 校長 小川 広孝

子供に届く言葉とは?

7月に入りました。早いもので、1学期も残すところ13日となりました。毎日、当たり前のように子供たちが学校に来てくれて、たくさんの笑顔と学びに向かう姿を見せていることに感謝しながら、よい1学期の締めくくりをしていきたいと考えているところです。先月22日の夜、子育て講演会で『浦川末子先生』の講演を拝聴いたしました。その中で、特に印象に残ったのが『愛着形成』のお話でした。浦川末子先生のお話ではありませんが、私の経験から少しだけお話をお聞きください。

家でお手伝いをほとんどしない6年生の女の子がいました。その子がクッキーづくりに興味をもち、家族と一緒にクッキーを焼きました。普段はやる気がないのに、この時だけは頑張っておいしいクッキーが出来ました。ほとんどお手伝いをしない子だったので、家族は大変喜んでいました。

さて、もし、皆さんがこの女の子の家族だったら、クッキーをがんばって作った我が子に、どんな言葉かけをされますか?多くの方は、きっと次のように考えられるのではないのでしょうか。

「おいしいクッキーができてよかったね。」「がんばって作ったね。えらいね。」「やればできるんだね。またおいしいクッキーを焼いてね。」などでしょうか。

まだ他にもあるかもしれませんが、ほめることが大切だということで、上記のように考えた方は多いと思います。実際、私も最初は、そのように考えていました。

ところが…。

「一緒に作れて楽しかったね!」

という声のかけ方だったらどうでしょうか?

これは、クッキーを作ったことの喜びを子供と共有している「横の関係」です。

これに対して、「がんばって作ったね。」というのは、採点を付ける人と付けられる人という「縦の関係」になります。

では、どちらの方が子供にとって嬉しいのでしょうか?

例えば、自分がたまにしか作らない料理をしたとき、家族に「おっ、えらいね。がんばったね。やればできるじゃん。」と言われたら、どんな感じがしますか。

裏面に続きます!

私たち大人は、子供との関係で、知らず知らずのうちに「よくできました。」という観点、つまり「縦の関係」だけから子供をほめてしまっているように感じます。

もちろん、ほめることは大切なのですが、大切なはその「ほめ方」です。いつでも「すごいね。」「えらいね。」だけでは駄目で、「協力してくれてありがとう。」とか「一緒にできて楽しかったね。」などという観点、つまり「横の関係」の中で、子供と喜びを分かち合う態度や感謝の気持ちをもつことも必要なのではないのでしょうか。

まだまだ十分とはいえませんが、私自身も「子供たちに対する言葉かけ」を考えるようになり、「横の関係」で言葉かけをすることを意識するようになっています。

当然ながら、私たち教師は、言葉かけもプロでなければなりません。保護者の皆様と一緒に本校の教職員も、感謝の気持ち、喜びの気持ちを伝える「横の関係」での言葉かけを心がけてまいります。御家庭でも、ぜひ実践していただければ幸いです。

心を見つめる教育週間、御来校ありがとうございました。

6月19日（月）～23日（金）まで、心を見つめる教育週間を実施いたしました。期間中、多くの保護者の皆様、地域の皆様に御来校いただきました。本当にありがとうございました。



情報発信は学校ホームページでも

小値賀っ子だより5月号でもお知らせしましたが、小値賀小学校ホームページでも、旬な情報を様々に発信しております。先月（6月）も、小中高一貫教育の海浜清掃や3年生のアジカまぼこづくり、コーチングの授業に、PTA 親睦親子球技大会、道徳授業（命の授業）など、たくさんの学習や行事がありました。その情報も、しっかりと発信しておりますので、ご覧いただくと幸いです。

1学期の最後まで、挑み続ける小値賀っ子で

6月29日（木）のよりみち塾は『筆ペンの日』でした。筆ペンを使って、様々な『挑む』（漢字や平仮名）の文字を、参加した子供たちが書いてくれました。児童玄関（靴箱）前に掲示してあります。この『挑む』文字が、それぞれ違うように、小値賀小の子供たちが挑むことやそのタイミング、意欲なども一人一人違っていると思います。何か一つでも、1学期の最後まで挑み続けるものを見つけて1学期の終業式を迎えてほしいと願っています。

